

流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

一、時系列における連結流動性カバレッジ比率の変動に関する事項

連結流動性カバレッジ比率						(単位：百万円、%、件)	
項目		2023年度第2四半期		2025年度第2四半期			
適格流動資産							
1	適格流動資産の合計額	2,681,553		1,646,307			
資金流出額		資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額		
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	8,061,854	587,019	8,106,794	584,426		
3	うち、安定預金の額	3,133,973	94,019	3,231,669	96,950		
4	うち、準安定預金の額	4,927,881	492,999	4,872,957	487,476		
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	4,041,358	2,288,991	3,158,462	1,279,058		
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—		
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	3,955,224	2,202,858	3,075,738	1,196,334		
8	うち、負債性有価証券の額	86,133	86,133	82,724	82,724		
9	有担保資金調達等に係る資金流出額	—	305	—	—		
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	501,822	260,252	543,055	273,576		
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	224,881	224,881	235,908	235,908		
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	—	—	—	—		
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	276,941	35,371	307,147	37,667		
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	113,256	103,079	102,163	97,893		
15	偶発事象に係る資金流出額	3,394,353	35,690	3,358,617	32,733		
16	資金流出合計額	—	3,275,339	—	2,267,688		
資金流入額		資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額		
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	—	—	—	—		
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	1,128,048	721,172	1,136,487	762,509		
19	その他資金流入額	344,388	295,863	369,074	334,768		
20	資金流入合計額	1,472,437	1,017,036	1,505,562	1,097,278		
連結流動性カバレッジ比率							
21	算入可能適格流動資産の合計額	—	2,681,553	—	1,646,307		
22	純資金流出額	—	2,258,303	—	1,170,409		
23	連結流動性カバレッジ比率	—	118.7	—	140.6		
24	平均値計算用データ数	62		62			

(1) 2022年度第4四半期より、日次で計測した流動性カバレッジ比率の平均値を使用しております。
(2) 2025年度第2四半期の連結流動性カバレッジ比率は、2023年度第2四半期より+21.9ポイントの140.6%となりました。上昇の主な要因は純資金流出額の減少であります。

二、連結流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項

2025年度第2四半期の連結流動性カバレッジ比率は、純資金流出額を上回る適格流動資産を保有し規制水準を上回る水準にあることから、流動性に係る健全性が確保されていると評価しております。

三、算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項

算入可能適格流動資産は、現金、中央銀行への預け金のほか、保有する国債等により構成されています。2023年度第2四半期から2025年度第2四半期にかけての算入可能適格流動資産の減少は、「中央銀行への預け金」の減少を主因とするものです。

四、その他連結流動性カバレッジ比率に関する事項

- (1) 持株流動性比率告示第28条に定める「適格オペレーショナル預金に係る特例」の適用はございません。
- (2) 「デリバティブ取引等及びレボ形式の取引等の時価変動に伴う資金流出額」の算定には、持株流動性比率告示第37条に定める「シナリオ法」は適用しておりません。
- (3) 持株流動性比率告示第59条に定める「その他契約に基づく資金流出額」には、預金保険料、支払法人税等が含まれております。
- (4) 持株流動性比率告示第52条に定める「その他偶発事象に係る資金流出額」、持株流動性比率告示第72条に定める「その他契約に基づく資金流入額」には、重要な項目は含まれておりません。
- (5) 流動性カバレッジ比率に与える影響に鑑み、重要性が乏しいと考えられる項目については日次データを使用しておりません。

安定調達比率に関する定性的開示事項

一、時系列における安定調達比率の変動に関する事項

連結安定調達比率												(単位：百万円、%)	
項番		2022年度第4四半期					2025年度第2四半期					算入率考慮後金額	
		算入率考慮前金額				算入率考慮後金額	算入率考慮前金額						
		満期なし	6月未満	6月以上1年未満	1年以上		満期なし	6月未満	6月以上1年未満	1年以上			
利用可能安定調達額（1）													
1	資本の額	996,053	—	—	—	996,053	1,033,099	—	—	—	1,033,099		
2	うち、普通株式等Tier1資本、その他Tier1資本及びTier2資本（基準日から1年を経過する前に弁済期が到来するものを除く。）に係る基礎項目の額	996,053	—	—	—	996,053	1,033,099	—	—	—	1,033,099		
3	うち、上記に含まれない資本調達手段及び資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
4	個人及び中小企業等からの資金調達	5,625,946	2,365,773	—	—	7,350,574	5,836,137	2,230,883	—	—	7,420,422		
5	うち、安定預金等の額	2,942,284	218,243	—	—	3,002,501	3,010,807	191,260	—	—	3,041,965		
6	うち、準安定預金等の額	2,683,662	2,147,529	—	—	4,348,072	2,825,329	2,039,622	—	—	4,378,457		
7	ホールセール資金調達	2,691,016	2,089,189	439,774	959,392	2,560,507	2,494,462	2,417,695	631,248	627,966	2,479,673		
8	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
9	うち、その他のホールセール資金調達の額	2,691,016	2,089,189	439,774	959,392	2,560,507	2,494,462	2,417,695	631,248	627,966	2,479,673		
10	相互に関係する資産がある負債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
11	その他の負債	193,281	64,822	—	9,992	—	—	72,486	—	28,879	—		
12	うち、デリバティブ負債の額	—	—	—	9,381	—	—	—	—	4,807	—		
13	うち、上記に含まれない負債の額	193,281	64,822	—	610	—	—	72,486	—	24,072	—		
14	利用可能安定調達額合計	—	—	—	—	10,907,135	—	—	—	—	10,933,195		
所要安定調達額（2）													
15	流動資産の額	—	—	—	—	38,508	—	—	—	—	263,229		
16	金融機関等に預け入れているオペレーショナル預金に相当するものの額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
17	貸出金又はレボ形式の取引による資産及び有価証券その他これに類するものの額	903,436	2,108,917	611,839	8,063,185	8,732,297	776,485	1,995,189	624,026	8,837,160	9,166,592		
18	うち、レベル1資産を担保とする金融機関等への貸出金及びレボ形式の取引による額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
19	うち、項番18に含まれない金融機関等への貸出金及びレボ形式の取引による額	15	364,116	77,348	705,032	798,339	9	406,634	84,132	824,459	927,530		
20	うち、貸出金又はレボ形式の取引による資産の額（項番18、19及び22に該当する額を除く。）	59,166	1,424,296	432,532	3,592,912	3,907,747	65,335	1,301,823	457,347	3,879,616	4,108,799		
21	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	—	84,868	82,100	624,673	489,522	—	88,732	93,859	619,973	494,278		
22	うち、住宅ローン債権	—	77,588	79,973	3,417,005	2,807,472	—	76,612	79,784	3,775,963	3,099,529		
23	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	—	29,026	29,829	878,817	600,659	—	29,518	29,823	941,188	641,443		
24	うち、流動資産に該当しない有価証券その他これに類するもの	844,254	242,916	21,985	348,234	1,218,737	711,140	210,119	2,762	357,121	1,030,732		
25	相互に関係する負債がある資産	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
26	その他の資産等	165,579	370,604	10,464	201,630	725,961	213,390	270,724	8,498	88,681	535,394		
27	うち、現物決済されるコモディティ（金を含む。）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
28	うち、デリバティブ取引等又は中央清算機関との取引に関連して預託した当初証拠金又は清算基金（連結貸借対照表に計上されないものを含む。）	—	—	—	17,696	15,041	—	—	—	35,802	30,431		
29	うち、デリバティブ資産の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
30	うち、デリバティブ負債（変動証拠金の対価の額を減する前）の額	—	—	—	1,515	1,515	—	—	—	3,826	3,826		
31	うち、上記に含まれない資産及び資本の額	165,579	370,604	10,464	182,419	709,404	213,390	270,724	8,498	49,052	501,136		
32	オフ・バランス取引	—	—	—	3,694,202	179,621	—	—	—	3,699,030	182,150		
33	所要安定調達額合計	—	—	—	—	9,676,389	—	—	—	—	10,147,366		
34	連結安定調達比率	—	—	—	—	112.7%	—	—	—	—	107.7%		

(1) 2022年度第4四半期より安定調達比率の計測を開始しております。
(2) 2025年度第2四半期の連結安定調達比率は、2022年度第4四半期より▲5.0ポイントの107.7%となりました。低下の主な要因は所要安定調達額の増加であります。

二．持株流動性比率告示第九十九条各号に掲げる要件に関する該当事項

持株流動性比率告示第99条に定める「相互に関係する資産・負債の特例」への適用はございません。

三．その他安定調達比率に関する事項

2025年度第2四半期の連結安定調達比率は、安定的な資金調達構造の下、規制水準を上回る水準にあることから、中長期の流動性に係る健全性が確保されていると評価しております。

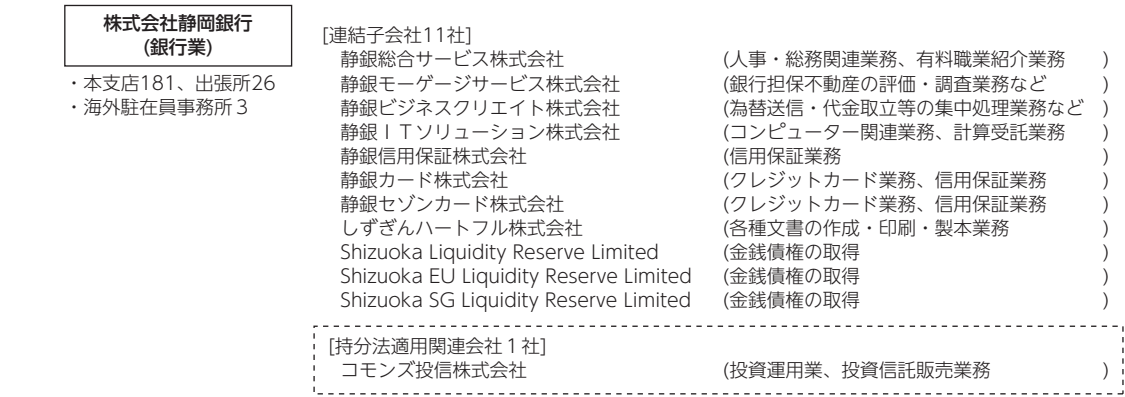
静岡銀行

当行の概要

(2026年1月1日現在)	
設 立 年 月 日	1943年3月1日
資 本 金	908億円
本 店 所 在 地	静岡県静岡市葵区呉服町1丁目10番地
拠 点 数 (2026年1月1日現在)	静岡県内 171（本支店152・出張所19） 静岡県外 33（支店26・出張所7） 海外 6（支店3・駐在員事務所3）

当行および当行の関係会社は、親会社であるしずおかフィナンシャルグループのもと、静岡銀行、連結子会社および持分法適用関連会社で構成され、銀行業務を中心に、信用保証業務およびクレジットカード業務などの金融サービスにかかる事業などを行っております。

当行および当行の関係会社の事業系統図



(注) 持分法適用関連会社であった静銀セゾンカード株式会社は、資本構成の見直しにより、2025年7月1日に連結子会社に変更しております。